

特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成17年度)のポイント

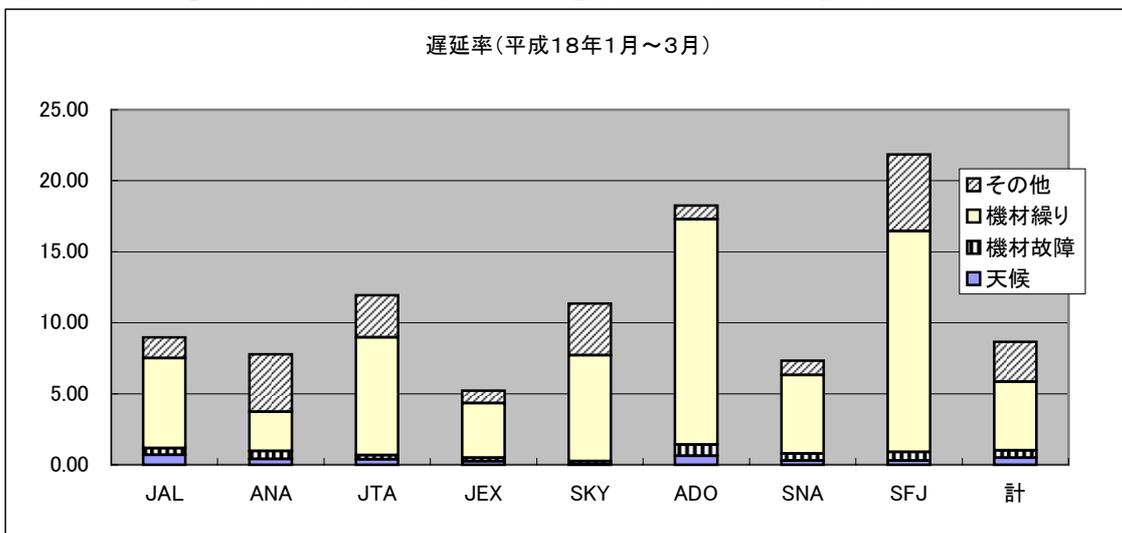
※日本航空(日本航空ジャパン、日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空、ジャルエクスプレス、スカイマークエアラインズ、北海道国際航空、スカイネットアジア航空及びスターフライヤー

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成18年1月～3月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
8.65%	7.05%	1.60ポイント増加

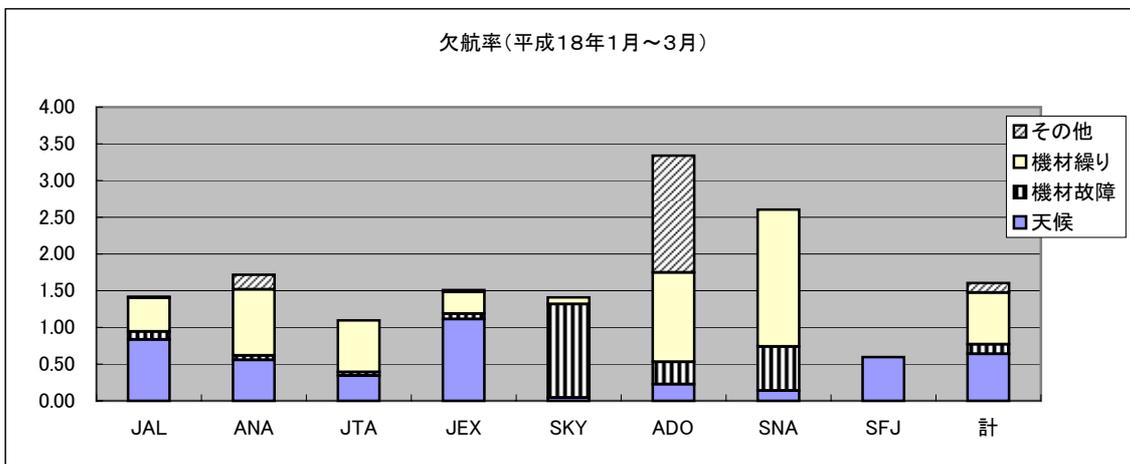
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成18年1月～3月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
1.60%	1.49%	0.11ポイント増加



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成18年1月～3月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	900km	898km	0.2%増
輸送人員	2205万9885人	2186万2075人	0.9%増
輸送人キロ	198億6086万人キロ	196億2572万人キロ	1.2%増
旅客収入	3329億28百万円	3164億75百万円	5.2%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.6千円	14.5千円	0.7%増
輸送人キロあたり 旅客収入	16.3円	16.1円	1.2%増

(2) 路線別データ(平成18年1月～3月)

① 旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	222万0977人
2位 東京＝福岡	202万2830人
3位 東京＝大阪	156万6534人
4位 東京＝那覇	121万8592人
5位 東京＝鹿児島	57万0376人
全路線	2203万5023人

② 利用率

上位5路線は次のとおり。

下位5路線は次のとおり。

1位 名古屋＝北九州	85.7%	1位 中部＝福島	25.0%
2位 東京＝神戸	83.9%	2位 関西＝宮崎	29.7%
3位 東京＝宮古	83.5%	3位 中部＝新潟	30.5%
4位 那覇＝岡山	80.7%	4位 札幌＝利尻	31.9%
5位 広島＝那覇	80.5%	5位 大島＝八丈島	33.1%
全路線	62.1%	全路線	62.1%

3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成18年1～3月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

(※)オーバーセールス(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	全日本空輸	0.23人	0.28人
②	北海道国際航空	0.06人	0.52人
③	日本航空	0.05人	0.08人
	全社平均	0.13人	0.18人